

有人打上用ロケットにお寄せ頂いた寄附金使途状況のご報告《平成26年度上半期分》

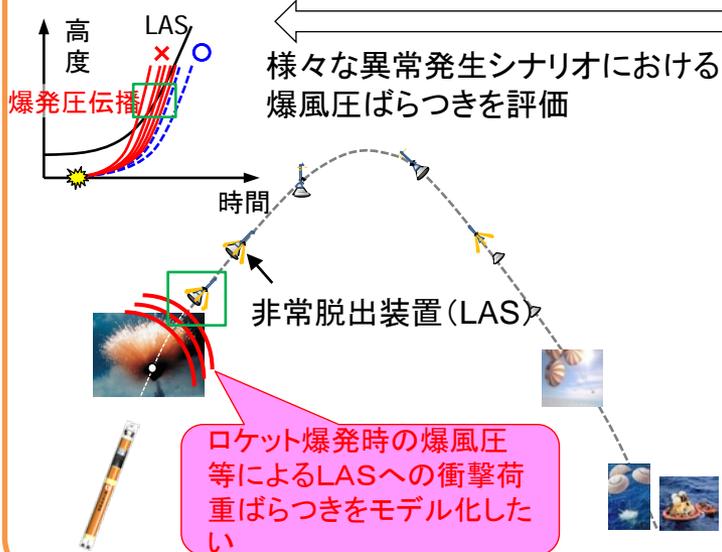
【目標】「有人打上用ロケットの飛躍的な安全性向上」と「開発コストの削減」を目指す！

- 1) 万が一の事故発生時には非常脱出装置による宇宙飛行士の救命が不可欠。
- 2) 非常脱出装置の安全性評価のためのロケット爆発時の爆風圧ばらつきを数多くの高コストな爆発試験等で評価することは非現実的。

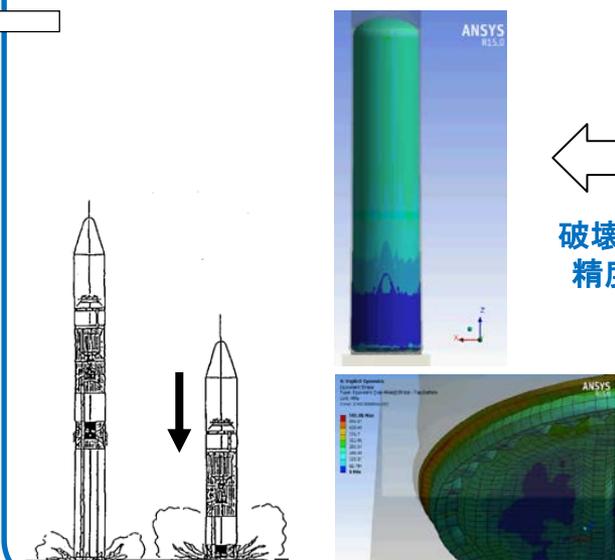
【打ち手】破壊等のハザードシミュレーションを軸とした安全性評価法を確立する。

この試験片作成の一部に寄附金を使わせて頂きました。

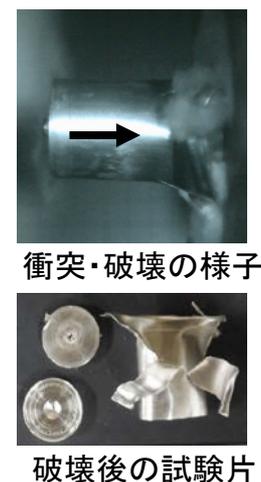
非常脱出装置の安全性評価



破壊シミュレーション



破壊試験



※JAXA社会連携講座の一環として熊本大 波多先生のご協力により実施

【結果】様々な条件下の破壊データ取得により現象把握が進み、モデル精度向上の研究に早期着手